

ライフサイエンスにおける新たな電子顕微鏡技術の展開

日本エフイー・アイ株式会社

日程: 2013年4月30日

時間: 15:00~16:30

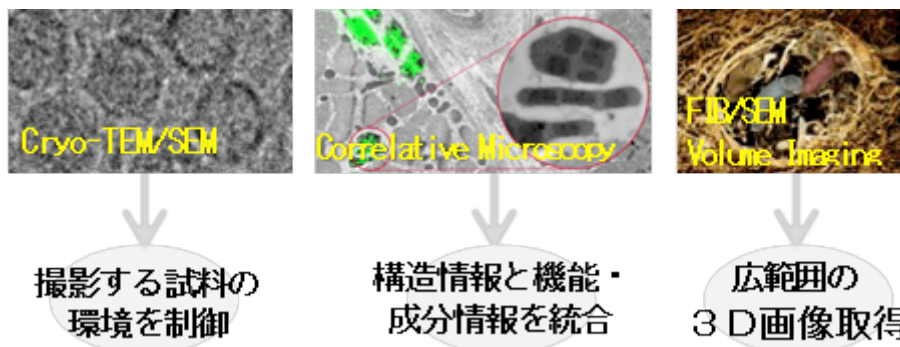
会場: 医学部教育研究棟 2階 第1・第2セミナー室

講演要旨

近年、生体試料を急速凍結固定することにより、重金属による試料の固定、有機溶媒による脱水、樹脂への置換をすることなく生体内に近い状態で細胞や組織を電子顕微鏡で観察することが可能になっています。

また、顕微鏡法から得られる情報は元来2次元の画像ですが、それを3次元データに拡張しようという試みは正常進化であり、ごく自然な流れです。電子顕微鏡においても、近年、いくつかの手法による3次元構造解析が注目され、ライフサイエンスに適用されつつあります。

本講演では、ライフサイエンスに於ける電子顕微鏡技術のトレンドを概説するとともに、注目されている①Cryo 電子顕微鏡法、②Volume3D Imaging、③Correlative Microscopy（蛍光顕微鏡と電子顕微鏡の相関顕微鏡法）を事例とともに紹介します。



主催: Graduate Program for Leaders in Life Innovation, The University of Tokyo

協賛: International Core Research Center for NanoBio

Center for NanoBio Integration, The University of Tokyo

For Further Information Contact: Kiyoko Jarnes at GPLLI Office

Phone: 03-5841-1509 / Fax: 03-5841-1510

E-mail: jarnes@cnbi.t.u-tokyo.ac.jp